

東京交通新聞 2008 年（平成 20 年）10 月 27 日（月曜日）

<全国移動ネット、東京で>

初の「研修サミット」

全国移動ネット（杉本依子理事長）は 18、19 の両日、東京・日本財団ビルで同財団の支援により、初の「全国研修サミット」を開催した。

有償旅客運送サービスの運転者に対する国土交通省認定講習制度が導入されて 2 年が経過し、9 月末で講習受講の猶予期間が切れたのを機に、移動サービス団体の運行管理責任者や認定講習の講師が一堂に会し、実践的な講習のあり方や問題点を討論した。

接遇・介助、車両、リスクマネジメントの 3 分科会に加え、当日の意見で急きょ、過疎地分科会を設置し討論。伊藤みどり事務局長の基調報告によると、9 月 8 日現在の認定講習機関は 144 あり、423 回の講習実施で 1 万 0850 人が受講した。伊藤事務局長は「すそ野を広げたい思いがある一方、安全意識と知識を講習で担保すべきとの相反する意見が混在していた」としている。

荻野陽一東京ハンディキャブ連路会事務局長の司会でパネル討論。

パネリストに竹田保氏（J ネット）、越谷秀昭氏（同）、山本憲司氏（全国移動ネット）、杉本理事長、伊良原淳也氏（関西 STS 連絡会）、柿久保浩次氏（同）、江口陽介氏（さが福祉移動ネット）らが参加した。

国土省・バリアフリー車両開発委 WG

国土交通省の「地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発」検討会（委員長 = 鎌田実・東大大学院工学系研究科教授）の第 3 回タクシー WG（主査 = 同）が 21 日、同省で開催、ユニバーサルデザイン（UD）タクシーのイメージ案と普及目標を年内に策定することを決めた。乗合タクシーに使用するコンピューター車両の開発についてはトヨタハイエースをベース車に改造することにした。